



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

第三七八号

白露

九月八日

那智黒石

長月九月、暦も秋気がようやく加わるという「白露」を迎えました。今年、稲の収穫期にあたる八月中旬頃から不安定な天候が続き、稲刈りが遅れがちのようです。すかつとした秋晴れになってほしいものです。

それでも、日の暮れが徐々に早くなり、虫の音がよく聞こえるようになりしました。そんな夜、以前に大黒ホールで開催された「伊勢の匠展」で購入した那智黒石の原石を磨く「勾玉キット」に挑戦しました。

那智黒石は、熊野市神川町だけで採掘される希少な石です。囲碁の黒い碁石や、硯として古くから使われてきました。0.1ミクロンという細かい粒子で、均質緻密の石は細工や加工をしやすく、磨けば磨くほど漆黒の輝きが増すというものです。

「勾玉キット」には、勾玉形の小さな那智黒石と、3枚の耐水サンドペーパーが入っていました。番号の異なるサンドペーパーを水につけて、原石を順番に磨いていくのです。まずはあらめのサンドペーパーを使い、原石の角を削る、荒目やすりがけを行います。次に角が削れたら、サンドペーパーを割りばしに巻き付けて勾玉形のくぼみを削ります。割りばしを使うことでくぼみをうまく削ることができず。あとは、サンドペーパーを変えて、表面がなめらかになるように磨いていくのです。サンドペーパーに水を含ませながら、だんだんと磨いていると集中していくのがわかります。15分ほどでしょうか、自分では磨けたと思いましたが、写真と比べると表面に滑らかさ、輝きがありません。自ら原石を磨くことで、那智黒石の研磨の技術の高さがわかりました。体験キットで磨いたことで、那智黒石がぐんと身近に感じるようになりました。付属の革ひもを付けて、ネックレスはなんとか完成しました。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○『第28回来る福招き猫まつり』

「安寧という福を」

私たちが日々の暮らしの中で楽しさや満足、喜びを感じられること、大切な人を想い、優しくなれること、生きがいを持つこと、全て穏やかで安らかな平和な世界があつてこそ。

紛争、災害、感染症・・・今、私たちが目の当たりにしていることは、そのことを強く深く訴えかけていきます。

今年の伊勢の招き猫まつりでは、改めて、安寧という福を招きたい、お届けしたい、お持ち帰りいただきたいと願っております。

日時／9月17日(土)～9月29日(木) 9:30～17:00 (催しにより異なる)

場所／おかげ横丁一帯

※主催者側の判断により、一部内容に変更が生じる場合がございます。

● 招き猫現代作家展

招き猫は、江戸末期に日本で誕生し、現在では国内外で親しまれ個性あふれる作品として表現されるようになりました。そんな中から「吉兆招福亭」が選抜した招き猫作家11名が描きます。

場所／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

出展作家(予定)／天野千恵美、有田ひろみ・ちゃぼ、岡村洋子、小澤康彦、小嶋 伸、櫻井魔己子、佐山泰弘、細山田匡宏、水谷満、宮地乃梨子、もりわじん<五十音順・敬称略>

● 郷土玩具招き猫展

全国各地で伝統的に作られている郷土玩具の招き猫を集めました。

ところ／五十鈴茶屋本店前

● 招き猫作家による実演と個展

4人の招き猫作家による個展。期間中は作家さんが在廊し、実演します。

場所／赤福別店舗

実演・在廊作家(予定)／有田ひろみ・ちゃぼ、ゴーあや、水谷満、和猫路

● 吉兆招福鈴授与

日時／9月29日(木) 9時29分～

場所／常夜燈前

地元の氏神様でお祓いを受けた、ありがたい福鈴です。ポチ袋に入れて929名の方に授与いたします。

お問合せ／おかげ横丁総合案内 TEL0596-23-8838

五十鈴塾

○『伊勢国司北畠氏の歴史⑤』

三重県内各地に伝えられる伊勢国司北畠氏関係の古文書を読み解くことで、中世後期の伊勢を生き抜いた北畠氏の歴史を見ていこうというシリーズの第5回目。

今回は明和町安養寺に伝わる「北畠満雅・教具御教書」を読みながら伊勢国司北畠氏と安養寺の関わりについて考えてみます。

中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎!!

日時／9月12日(月) 13:30～15:00

講師／岡野 友彦 (皇學館大学文学部長)

参加費／一般 1,400円 会員 900円

場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となる可能性があります。

五十鈴茶屋

○『節気菓子』

は
き
萩

萩は草かんむりに「秋」と書きます。

芭蕉も「白露をこぼさぬ萩のうねりかな」と詠んで讃えたこの花は、秋の七草のひとつです。道明寺入りの葛で白餡を包み、秋風に揺れる花の姿を表現しました。

げ
と
月 兎

9月になると空気がすっきりとして、夜空の月もいっそう明るさを増します。こし餡入りの道明寺粉に氷餅をまぶし、下界にびよんと降り立った、月の兎に見立てました。

み
の
り

収穫の時期となりました。

伊勢の指定天然記念物である蓮台寺柿は、9月中旬になると地元の店頭に並びます。ういろう生地で柿餡を包み、蓮台寺柿独特の角張った姿に似せました。